

平成26年度 大田区立大森第三中学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

<ul style="list-style-type: none"> ◆学校規模（生徒数512名、学級数14学級） ◆平成25年度・26年度大田区研究推進校（研究主題「自立的な集団をつくることを通して自己肯定感を高める指導の工夫～育てるカウンセリングと話し合いスキルの習得等を手立てとして～」） ◆本校の特色として、・数多くのボランティア活動（新井宿福祉園運動交流会、敬老の日手紙ボランティア、ガーデンパーティ、日赤フェスタ、地域清掃など）への参加 ・生徒会や各種委員会を中心とした生徒主体の活動（生徒会朝礼、いじめ撲滅運動、学校行事や学年行事での実行委員会組織による
--

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組及び今後の改善策	学校関係者評価コメント
学力向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	児童・生徒と面談等を実施し、学習のつまずきや学習方法について、助言・支援を行う。	4: 生徒へのアンケートの設問「学習に積極的に取り組んでいる」での肯定的な回答率と学習効果測定 of 全校平均正答率がそれぞれ80%以上	2	数学の教科部会において、チェックシートの活用について各学期末および学習カウンセリング時に返却・回収するよう改善し、個に応じたアドバイスをを行った。「学習に積極的に取り組んでいる」と肯定的に回答した生徒は81%に達し、前年度より10%上昇した。ただし、学習効果測定 of 全校平均正答率が59%となっているため、今後は学力向上にむけて教員の授業力向上と家庭学習のさらなる定着を図る。	・学力効果測定 of 正答率を底上げできるよう、生徒・保護者共通で他の項目に比べて低い評価となっている「少人数習熟度別授業」や「家庭学習」の定着に努めてください。 ・共働きの御家庭が当たり前の昨今、家庭の協力はいかがですか。中学に入學すると、親もほっとしてしまような気がしますが、3年生になってから慌てても遅いことを忘れずに。 ・魅力的授業は教員の個性を含めた生涯の目標だと思います。真剣に取り組むことで結果が出てくるでしょう。 ・今後の取組に期待しています。
		算数・数学到達度をチェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	3: 生徒へのアンケートの設問「学習に積極的に取り組んでいる」での肯定的な回答率と学習効果測定 of 全校平均正答率がそれぞれ60%以上			
		算数・数学の補充プリントや発展プリントを配布し家庭学習を支援する。	2: 生徒へのアンケートの設問「学習に積極的に取り組んでいる」での肯定的な回答率と学習効果測定 of 全校平均正答率のどちらかが60%未満			
		学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。	1: 生徒へのアンケートの設問「学習に積極的に取り組んでいる」での肯定的な回答率と学習効果測定 of 全校平均正答率のどちらかが40%未満			
豊かな心を育む	子ども一人ひとりの健全な自己肯定感・自己決定力を高め、未来への希望に満ちた豊かな人間性を育みます。	法令などの社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高め道徳教育を実施する。	4: 生徒へのアンケートの設問「学校の決まりを守っている。」での肯定的な回答が80%以上	4	平成25・26年度大田区教育研究推進校としての研究成果が表れ、全国学力学習状況調査「自分にはよいところがある」との質問に肯定的に回答した割合は、全国・都の平均と比べて本校生徒の割合は高く、自尊感情を高める結果を得ることができた。さらに、学校生活調査とともにQ-U調査を分析することによって、諸問題を抱える生徒への個別の支援を行った。また、集団の質を高める取組を行い、「学校の決まりを守っている」と肯定的に回答した生徒は95%に達した。	・大田区教育研究推進校としての研究成果が表れているのはよいことです。グループ活動を通じて、生徒たちの生きる力がますます高まるように、引き続き取組を続けてください。 ・校内に入ると生徒たちは気持ちのよい挨拶をしてくれず。 ・不登校生徒への見守りなど、地域の我々につないでいただけると協力できることもあります。 ・教育研究校の指定年度のみならず、その努力を平素も継続してください。 ・生徒たちの挨拶が非常によく、元気を感じます。
		学校と家庭、地域が連携し、道徳授業地区公開講座の活性化を図る。	3: 生徒へのアンケートの設問「学校の決まりを守っている。」での肯定的な回答が60%以上			
		学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果等をもとに個人面談等を実施する。	2: 生徒へのアンケートの設問「学校の決まりを守っている。」での肯定的な回答が40%未満			
		いじめ・問題行動の未然防止のための取組を実施する。				
		不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。				
体力向上	子ども一人ひとりの身体活動量を高めて意欲や気力の元となる総合的な体力を育みます。	早寝・早起き・朝ごはん月間の取組を実施する。	4: 生徒アンケートの設問「継続的な運動を通して基礎体力が向上した」での肯定的な回答が80%以上	4	生徒の82%が「継続的な運動を通して基礎体力が向上した」と肯定的に回答した。基本的な生活習慣の定着促進とともに、今後も校区における小中一貫した体力向上の取組を行い、補強トレーニングや体育的行事等を通して健康・体力向上を図る。	・特に問題ありませんが、給食がもっと楽しみになるとよいですね。(生徒・保護者共通で給食への満足度が70%前後で他項目に比べて低め。小学校の給食との比較か?) ・朝ごはんを食べること! ・当たり前のことができていて喜ばれ感じます。親に感謝を! ・体力はいつの世も基本的な項目だと思います。 ・継続した御指導をお願いします。
		体力向上全体計画に基づいた指導を実践する。	3: 生徒アンケートの設問「継続的な運動を通して基礎体力が向上した」での肯定的な回答が60%以上			
			2: 生徒アンケートの設問「継続的な運動を通して基礎体力が向上した」での肯定的な回答が40%未満			
教育環境向上	教員の指導力向上、施設の整備や講師・支援員の配置などの学校サポーター体制の充実に取り組み、学習環境の向上を図ります。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。	4: 生徒アンケートの設問「わかりやすい授業が多く満足している」及び「補習教室・英語カフェ等授業以外の学習環境が整えられている」での肯定的な回答がともに80%以上	4	タブレット端末や電子黒板等ICT機器を効果的に活用した授業を展開するため、教員の指導技術向上を目指す。大田区学習効果測定及び国・都の学力調査の結果を分析し、各教科の年間指導計画・評価評定基準を見直すとともに、教員の授業力向上を推進し授業改善に努める。	・ICT活用の低さがやはり目立ちます。教員同士もグループ学習を通じて、互いに教え合うことが必要ではないでしょうか。 ・校内がいつもお花でいっぱい! 美しい、きれいな、心が豊かになります。 ・電子黒板があまり活用されていないようです。型が古くなる前に有効利用してください。 ・時代の流れとともに、様々な便利なグッズが出てきます。十分に生かす方便を考えてください。
		各種研究発表会や授業改善セミナー等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。	3: 生徒アンケートの設問「わかりやすい授業が多く満足している」及び「補習教室・英語カフェ等授業以外の学習環境が整えられている」での肯定的な回答がともに60%以上			
		ICT機器を活用した授業を実施する。	2: 生徒アンケートの設問「わかりやすい授業が多く満足している」及び「補習教室・英語カフェ等授業以外の学習環境が整えられている」での肯定的な回答がともに60%未満			
		特別支援教育を充実させ、校内委員会等を実施する。	1: 生徒アンケートの設問「わかりやすい授業が多く満足している」及び「補習教室・英語カフェ等授業以外の学習環境が整えられている」での肯定的な回答がともに40%未満			
		授業改善推進プランを、授業に生かす。				
地域と共に歩む学校づくり	学校・家庭・地域の果たすべき役割や責任を明らかにするとともに相互の連携を深め、地域とともに子どもを育てる仕組みをつくりたい。	教育目標、学校経営計画、学校経営方針をホームページに公開する。	4: 保護者へのアンケートの設問「保護者会、学年通信等で学校の様子がよくわかる。」での肯定的な回答が80%以上	4	学校支援地域本部と緊密な協力体制を構築し、年間のべ30名ほどの学習支援ボランティアを手配し、個々の習熟の程度に応じた手厚い補習教室を実施することができた。今後も図書館ボランティア・園芸ボランティアの充実も含め、地域力を生かした教育環境整備を図るとともに、PTAや地域教育連絡協議会・学校支援地域本部との連携をさらに深めていく。	・保護者アンケートの「教育活動の様子を伝えている」の評価は高いのですが、「教育方針や目指す生徒像」では下がっています。また、「ボランティアへの参加」も前年度より低くなっており、指標のとり方次第では成果評価が下がる可能性があります。 ・職場体験の生徒たちの発表を聞いた後、受け入れた地域の会社の方に話を聞いてみました。ともに「よかったです!」との声でした。働くことの大変さや、そのあとの充実感を味わえたようで素晴らしい授業です。ますますこれからは地域力を発揮する時代です。地域の方々が学校へ目を向けるチャンスです。 ・積極的に御協力をいたします。 ・先生方の一生懸命さがよくわかります。がんばってください。
		情報を積極的に公開するとともに、学校ホームページの充実を図る。	3: 保護者へのアンケートの設問「保護者会、学年通信等で学校の様子がよくわかる。」での肯定的な回答が60%以上			
		地域連絡協議会において自己評価に対する評価を行い、その結果をホームページで公開する。	2: 保護者へのアンケートの設問「保護者会、学年通信等で学校の様子がよくわかる。」での肯定的な回答が60%未満			
		学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実践した。	1: 保護者へのアンケートの設問「保護者会、学年通信等で学校の様子がよくわかる。」での肯定的な回答が40%未満			

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 改善が必要である D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。